

## びわコミ 会議への 参加方法

### 事前申し込みが必要です！

※ブース展示の出展申込時にお名前を記載していただいた方、午後の座談会の進行役等としてお名前を登録いただいている方は、参加申込は不要です。

下記の参加申込書の内容を、**8月20日(火)**までに、**FAX・E-MAIL・電話**のいずれかの方法で事務局あてにお申込みください。複数でのお申込みの場合は、全ての参加希望者の所属・連絡先等が分かるようにして別紙等(様式任意)でお申込みください。**定員(200名)になり次第、先着順で締切**らせていただきますので、**お申込みはお早め**にお願いいたします。

マザーレイクフォーラムびわコミ会議  
2019/8/31 第1部 & 第2部

## 参加申込書

FAX または E-MAIL または 電話

フリガナ 氏 名			
所 属			
連絡先	(電話)	—	—
	(E-mail)		@
住所 (市町まで)	府・県		市・町

※記入された個人情報は、マザーレイクフォーラムに関する業務のみで使用し、それ以外の目的では使用しません。

## ブース 展示の 出展方法

### 出展申込用紙をダウンロード & 提出してください。

びわコミ会議会場にて、ご自身の活動をPRする「ブース展示」を希望される団体は、びわコミ会議の公式Webサイト(<http://mlf.shiga.jp/biwacom>)にて「**ブース等出展申込用紙**」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、**8月8日(木)**までに、**FAX・E-MAIL・電話**のいずれかの方法で事務局あてにお申込みください。**定数(約25ブース)が埋まり次第、先着順で締切**らせていただきますので、**お申込みはお早め**にお願いいたします。

※申込用紙のダウンロードが難しい場合は事務局までご相談ください。

## 会場への アクセス

### コラボしが21 3階

滋賀県大津市打出浜2番1号  
(びわ湖ホール向かい)

大会議室  
中会議室

- JR琵琶湖線「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分
- 会場の駐車場は使用できません。  
お車で越しの場合は「びわ湖ホール  
駐車場」など、近隣の有料駐車場をご  
利用ください。



## 申込み 問合せ

マザーレイクフォーラム運営委員会 事務局 (公財) 淡海環境保全財団内 川端 宛  
〒525-0066 草津市矢橋町字帰帆2108 淡海環境プラザ2階  
TEL: 077-569-5301 FAX: 077-569-5304 Email: [mlf@ohmi.or.jp](mailto:mlf@ohmi.or.jp)  
エム・エル・エフ

## みんなの 情報交流サイト「マザーレイクフォーラム」

今すぐ**メンバー登録**して、情報収集や情報発信におおいにご活用ください!!

マザーレイクフォーラム

検索

<http://mlf.shiga.jp>

最新の情報は  
facebookページで!!



## 第9回

## マザーレイクフォーラム

# びわコミ会議

2019年8月31日(土)

10:00 ~ 16:30

参加  
無料

コラボしが21 (びわ湖ホール向かい)

定員 200人 (申込み先着順)

▶ 参加申込方法は裏面

【開催テーマ】

## びわ湖のこれまで、そしてこれから

▶ 詳しくは中面を参照

## 「びわ湖」について考え、語り合う 年に1度の大集会！

### 【第1部】みんなつながる報告会 10:00 ~ 12:00

- ★「びわ湖」～指標で見るびわ湖の変遷とトレンド「びわ湖なう！」～
- ★「野洲川」～野洲川をめぐる多様な主体のつながり・かかわりを育む～
- ★「沖 島」～びわ湖唯一の有人離島の復興プロジェクト最前線！～
- ★「観 光」～ローカルな地域資源とインバウンドツーリストをつなぐ～
- ★「漁 業」～漁業の六次産業化：接客する漁師へ！～
- ★寄付金贈呈式 と 寄付金活用報告

### 【第2部】びわ湖のこれから、話さへん？ (座談会) 13:15 ~ 16:30

(話し合いテーマ例) マザーレイク21計画/野洲川/沖島/天井川/インバウンド/釣り人/企業/びわ湖の魅力/  
びわ湖の豊かさ/びわ湖への思いの距離感/外来生物/水草/やまの健康/水源の森 など

### 【ブース展示】さまざまな活動、さまざまな人、つながれ！

10:00 ~ 16:30

▶ 出展申込方法は裏面

びわ湖や、びわ湖とつながっている川・森・田・内湖…と、いろんな形でかかわっている人・かかわりたい人びとが一堂に集うイベントです。

おたがいの立場・経験・意見の違いを尊重しながら、「思い」や「課題」を共有して、びわ湖の将来のため、大人も子どもも、みんなで一緒に、楽しく話し合しましょう！

【主催】マザーレイクフォーラム運営委員会 / 滋賀県

びわコミ会議ナビゲーター  
マザーレイクフォーラム広報大使

川本 勇さん

ミュージシャン、プロデューサー、楽曲ストン代表取締役。  
びわ湖をこよなく愛し、「ミスターびわ湖・勇さん」の愛称で親しまれています。

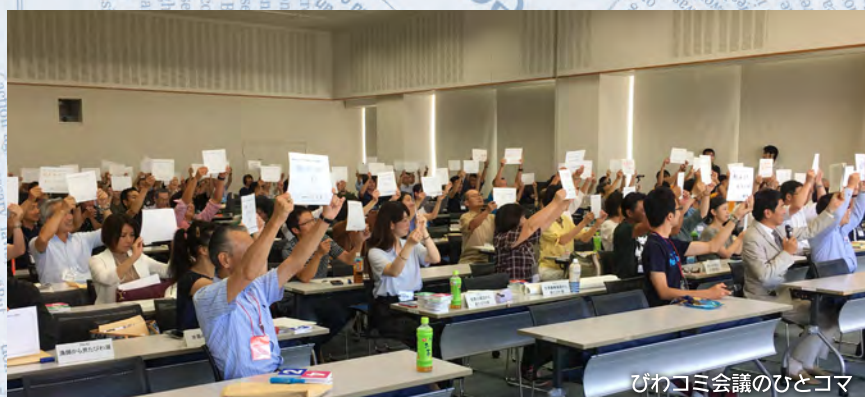




# MOTHER LAKE TIMES

マザーレイク・タイムズ  
2019年7月号

## 今年の「びわこミ会議」 特徴・みどころは？



びわこミ会議のひとつ

「びわこミ会議」を主催している「マザーレイクフォーラム運営委員会」は、漁師・農家・企業・NPO・研究者・県職員などで構成されていて、より多くの皆さんがびわ湖をまもる活動やびわ湖につながる暮らしづくりに主体的に関われるよう、びわこミ会議の企画運営のほか、人・思い・事業をつなぐさまざまな取組をしています。

「びわこミ会議」の「びわ」は「びわ湖」を、「こミ」は「コミュニティ（地域）」「コミュニケーション（対話）」「コミットメント（約束）」の3つの意味を表しています。

びわ湖が好きな人、びわ湖流域をまもる活動に関わっている人、関わりたい人が、県内外から世代を越えて毎年約200人も集まり、お互いの取り組みや思いを共有したり、びわ湖の将来のために立場を超えて楽しく話し合う、恒例のイベントです。

あらためて、そもそも「びわこミ会議」とは？  
8月31日（土）に大津で開催される、第9回マザーレイクフォーラムびわこミ会議。

## ポスト「マザーレイク21計画」に向け、開かれた場づくりを！ 「びわ湖の未来を一緒に考える仲間、大募集」大津&長浜で開催

### 市民主体の計画づくり

およそ10年前、「マザーレイク21計画」第2期計画の策定にあたっては、多くの市民や研究者が集まり、ワークショップや話し合いを何度も積み重ねることで、現場の思いや県民の暮らしの目線に立った計画が作られました。さらに、その進行プロセスにも市民が主体的に参画しやすくなるよう、びわこミ会議の場をはじめ、さまざまな試行錯誤がされてきました。これは、「びわ湖」を囲んでひとつになれる滋養ならではの画期的な試みだったと言えます。

その「マザーレイク21計画」が、2020年度で終了します。



「びわ湖の未来を一緒に考える仲間、大募集！」(3/24@大津)



「びわ湖の未来を一緒に考える仲間、大募集！」(5/12@長浜)

これから先、私たちはびわ湖にどう向き合い、守り、支えていけばよいのでしょうか。次の新たな形を模索していかなければなりません。

### 「びわ湖の未来」に共に向き合える仲間を求めて

このため、まずは次の10年・20年を私たち「マザーレイクフォーラム運営委員会」と一緒に歩んでくださる「仲間」を集めよう、ということになります。今年3月に大津で、5月に長浜で、「びわ湖の未来を一緒に考える仲間、大募集」と題したキックオフ・カフェ・ミーティングを開催しました。

## 「びわ湖をまもる」につながる マザーレイクギフトを贈ろう！ ～母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト2年目～

<https://thanks-motherlake.jp/>



びわ湖や水源の森の環境・生き物・一次産業などを守るために頑張っている人々の取組をより多くの市民の皆さんに知ってもらい、買う・贈る・もらうことを通じて気軽に応援してもらえよう。と、昨年度から始まった「母の日・父の日・びわ湖の日プロジェクト」。

2年目の今年は、びわ湖愛あふれる米粉のおやつや、魚のゆりかご水田米から生まれたお酒などをフィチャーして、取材レポートを動画・ブログ・SNS等で発信。

また、特別な日に贈るギフトセットをオーダーメイドでプロデュースする「記念日ギフトプロジェクト」も始動。第一弾として、結婚式の引出物のご依頼をいただき、水源の森の雑木を使った箸やスプーンを依頼者にも手伝ってもらって手作りしてもらったなど、たいへん好評いただきました。

※この事業は、マザーレイクフォーラムへの寄付金を活用して実施しております。



母の日ギフト 動画



父の日ギフト ブログ記事

「マザーレイク21計画」策定からもうすぐ20年。過去に学び、未来を語る。今年度のびわこミ会議の開催テーマは「びわ湖のこれから」。

びわ湖流域の総合保全をめざして2000年に滋賀県が策定した「マザーレイク21計画」の計画期間が来年度で終了することから、これまで私たちがどのようなびわ湖流域と関わってきたかを改めて振り返ったり、びわ湖の「これから」についてさまざまな側面から考えを分かち合える機会になれば、と考え、このテーマを掲げました。

「びわ湖なう」のコーナーでは、「マザーレイク21計画」にもとづく過去20年間の取り組み経過やびわ湖の変化の様子などが、データとともに詳しく解説される予定です。



2050年頃のびわ湖のあるべき姿のイメージ  
(マザーレイク21計画 第2期改定版より)

また、異分野の同士の立場を越えて思いを伝え合ったり、連携を深められるのも、びわこミ会議の醍醐味です。

### 「報告会」「座談会」「ブース展示」の3部構成

びわこミ会議は、4組の個性豊かな団体による事例報告・県の「びわ湖なう」・寄付金受領式と活用報告からなる「みんなつながる報告会」、約15のテーマ別グループに別れての「びわ湖のこれから、話さへん？」（座談会）と、約25の活動団体による「ブース展示」の3部構成になっています。

参加に資格や経験は不要です。例年、参加者の半数以上が初参加の方です。これからびわ湖と関わりたい人、自分たちの活動を知ってもらいたい人、仲間あつめをしたい人、とにかくびわ湖を語りたい人：ぜひ、今年の「びわこミ会議」にご参加ください！

（※参加には申込が必要ですが、方法は裏面をご覧ください。）



座談会



ブース展示